

## 韓国の貯蓄銀に参入

### 優先交渉権を取得

Jトラスト

Jトラスト（藤澤信義社長）は7月19日、経営破たんした韓国の未来貯蓄銀行の事業引き受けで、同国の預金保険公社から優先交渉権を取得した。入札によって複数候補のなかから選定された。

Jトラストは8月上旬にも同公社と基本合意書を締結。その後、新会社を設立し10月下旬を予定に、当局から貯蓄銀行業の認可を取得し、未来貯蓄銀の一部資産・負債を引き受ける。

Jトラストは11年4

月、同国のネオラインクレジット貸付を買収し、消費者金融事業に参入した。今回の事業引き受けが実現すれば、貯蓄銀で消費者金融事業も扱っていくことを想定している。

未来貯蓄銀は済州市が本店で店舗数は15カ店。総資産は約1・5兆<sub>ウォ</sub>（約1035億円）。不良債権問題で債務超過になり、12年5月に韓国金融委員会から不良金融機関の決定を受け、6カ月間の営業停止処分も受けた。